

樟樹 中を温め氣を下し胸廓の滯食を去り渴を止む多食すれば痰をあつめ血脈を滞らし疝氣を起す。

佛手柑 毒なし氣を下し胃中の悪氣を除く、一に枸櫞に作る。

檀檀 痰を去り霍亂轉筋を治する、因つて痰咳の人この水をこ

り砂糖を和し練りて用ふ是を檀檀香と云ふ。

栗 氣を下し腎を補ふ病人小兒食ふべからず生は化しがたく

熟は氣を滞らす。

乾栗 毒なしと雖も病人小兒食ふべからず。

棗 毒なし多食すれば脾胃を損じ濕熱を助くまた瘦せたる人

食ふべからず。

梨 熱を去り渴を止め痰を開き火を下し酒毒を解し大小便を

通ず但し金瘡産婦及び血虚の人にむ乳を喫む小兒これを食へ

ば腹に入りて虻ごなること云ふ俗説あれご詳ならず。

林檎 毒なし但し海棠の一種なり氣を下し痰をひらく多食す

べからず。

柿 胃熱を去り酒毒を解す脾胃弱き人また老人小兒病人食ふ

べからず。

白柿 痰を消し渴を止め心肺をうるほし咳嗽を止む小兒又は

齧齒ある人食ふべからず。

柘榴 咽の乾きを止め蟲を殺す多食すれば齒を損じ肺をやぶ

る病人にいむ。

枇杷 氣を下し吐逆を止め五臓をうるはす多食すれば熱を起

し脾胃を破る。

楊梅 吐嘔をこめ食を下し酒を解す多食すれば痰を動し痔

を起す。

銀杏 肺を温め小便を静め人に益あり小兒多食すれば驚風を

起し疝をやむうなぎご同食すべからず。

胡桃 肌をうるほし髪を黒くし人をして肥えて健かならしむ

多食すれば痰を動かし食を吐しむ。

榧 食をすゝめ目を明らかにし筋骨を益し五痔および寸白蟲

を治す。

無花果 洩痢を止め五痔を治す多食不可。

胡頹子 毒なし水痢を治し渴きを止む。

枳椇 熱を去り渴を止め酒毒を解す多食すれば蛔蟲を生ず。

懸鈎子 痰を去り渴を止め酒毒を解す。

櫻桃 中を調へ水瀉を治す。

葡萄 氣力をまし志を強くし筋骨のしびれを治す多食すれば

眼を味ます。

錦荔枝 目を明かにし心を清くし邪熱を去り勞乏を解す。

椎子 毒なしご雖も多食すれば氣をふさぎ脾胃を損ず小兒病

人食ふべからず。

柑子 肺をうるほし渴きを止め胸中膈氣を除く多食すれば痰

をあつむ。

蜜柑 胃中の熱を利し暴渴を止め小便を通じ多食すれば痰を

生じ脾肺を冷す。

金柑 氣を下し胸をすかし酒をさます但多食すれば痰を動か

す。

附 錄

橙 一に加不須さいふ氣を下し中を寛め酒毒を解す蓋し此皮

を末して酒にて服すれば疝氣を治す。

乳柑 橙に類し能毒上におなじ但橙は苦く醋くして食ふに堪

えず乳柑は上品にして柑類の冠とも云べきか。

柚 俗にゆずといふその味至て醋き故なるべし食をすゝめ酒

毒を解す尤も香氣ありて花の時より之を賞す。

芫實 水中深泥に生ずるもの中を調へ五臓を補ひ酒毒を解す

多食すれば蚊蟲を生じ臟腑を破り陽氣を損す。

梅 毒なし氣を下し熱を去り心を安じ渴を止む多食すれば齒

を損じ筋を破り痰を起す。

桃 少毒ありて人に益なし渴を止め顔色を美しくするの効

あり多食すれば腹はり瘡癩を生ず。

李 毒なし中を調へ勞熱を去る多食すれば腹はり虚熱を起す

杏 少毒あり渴を止め熱を去る産婦小兒に忌む。

第十五 醫藥としての魚介類の効

鯉 氣を下し渴を止め小便を通じ水腫を治す、妊娠胎安からざ

るを收め乳汁を出す、また喘息上氣咳逆を治す、但し流行病の後食

ふべからず。

鯽 中を温めて下痢を止む、虚を補ひ五臓をます多食すれば氣

を動かす。

鱒 胃を温め中を和く、多食すれば風熱を動かす腫物ある人忌

むべし。

鰻鱺 虚損を補ひ氣力を益し五疝の蟲をころし傳尸癆咳を治

す、生なる膽をこり酒にて服すれば目を明かにす、但し頭に星ある

もの毒あり食ふべからず。

鯧 氣を益し酒を醒す、其外效能屢々あり暑中羹になし食へば  
霍亂を病まず汗眼に入らず。

鯰 水腫を治し小便を通ず、蒲鉾にして食へば脾胃を補ふ、病人  
忌す、但し多食と薬を服する人に忌む。

鯊 毒なければ病人にもよし。

香魚 一に年魚に作る五臓を補ひ泄瀉を止む。

鱈 一に鮓に作る毒なし脾胃を暖め食を進む。

石伏魚 毒なし病人にもよし。

黄頸魚 少し毒あり水腫の人食すれば小便を利す。

泥魚 毒なし。

棘鬚魚 中を補ひ氣力を益し人をして肥え健ならしむ、多食す  
れば腹満す、熱病瘡疥ある人は食すべからず、脾胃虚弱の人はいむ

べし。但しこの魚性強きを以て小兒痘疾の時出揃いまで、肉及び煮  
汁を多く吸はしむべし極めて效あり。

方頭魚 毒なし病人によし。

金線魚 同上

烏頰魚 少し毒あり病人食すべからず、俗に云ふ妊娠の婦人こ  
れを食すれば墮胎す、然れども書に見えず往々そのことあり。

海鰻鱺 一に鱧に作る、悪き瘡疥また疔の蟲痔漏を治す、又蒲鉾  
にすれば病人小兒忌まず。

あなご 性毒なし。

あいなめ 毒なし病人に害なし。

鰻魚 瘀血を破り産後の血量を治す、多食すれば瘡疥を起し、金  
瘡脱血及び一切血の疾の人は食すべからず。

鱈 少し毒なれど五臓を補ひ筋骨を益し水氣を治す多食すれば瘡腫を生ず。

鮭 俗に鮭に作るは非なり虚を補ひ氣力を益し最も老人によろし但産後の婦人また瘡疥および腫物ある人食ふべからず。

鯉 古は生にて食ふことなし皆乾して今の鯉節となして食したり鎌倉の頃より生にて食することとなり今は上饌となれり少し毒あり中を温め腸胃を調ふ多食すべからず。

大口魚 氣を補ひ小便を通ず病人にも忌まず。

鰻 一に鰻に作る毒なしと雖も其性宜しからず因て瘡疥ある人は忌むべし蓋し産後味噌汁にて食へばよく血を收め乳汁を出すの能あり。

校魚 膚をうるほし氣力を益す多食すれば瘡疥を生ず病人小

兒食ふべからず但し乾物になしたるは小兒病人食ひて害なし。

交鱈魚 狂氣を收め妊娠の婦人食へば産輕し。

鱖 毒なし上饌なりこれを食すれば疫病をやまずと云ふ。

鰱魚 一に膾殘魚に作る毒なし多く病人の食ふものとす。

青花魚 一に鯖に作る少し毒あり病人食すべからず。

鰵魚 一に鱈に作るは俗字といへり少し毒あり多食すれば血を破り氣を損じ瘡疥を生ず。

鯉魚 一に魴に作る氣力をまし人をして肥え健やかならしむ。

馬鮫魚 一に鱈に作る味甘く氣厚し毒なれど諸々の病人また目を疾む人に忌むべし。

鱈 毒なし膾にして食へば五臓を補ふと云ふ。

河豚 大毒あり若し毒にあたらば糞汁を服して速に解す途中

なごにて自在ならざればその地を穿ち水を入れ其上の澄みたる處を飲ましむるもよし。

華臍魚 脾胃を調へ虚勞を補ふ。

鰻魚 一に藻魚に作る脾胃を調へ虚勞を補ふ。

鱸殘魚 中を寛め脾胃を健にす病人食して害なし。

鰻魚 胃を開き五臓を利す病人にもよし。

鮐魚 鰻の小なるもの氣味前に同じ。

火筍背 一に鮐魚に作る膈噎を治する能あり。

火魚 一に銅頭魚に作る毒なし病人によし。

竹筴魚 毒なければも病人には用捨あるべし。

竹麥魚 毒なし病人食ふべし。

牛尾魚 一に鰻に作る毒なし病人食ふべし。

比目魚 一に鰈に作る虚を補ひ氣力を益す病人食ひてよし、但しひらめむしがれは各氣味之に同じ。

海鷄魚 少し毒あり男子の白濁膏淋を治す、病人には忌む。

海鱧魚 少し毒あり瘡疥金瘡産後總の病人に悪し。

海鱈 脾胃を補ひ久しき瀉をこめ虚冷を治すこいへごも脾胃よはき人病人は食すべからず。みくじらは風を動かし熱を生ず。

やつめうなぎ 小兒の疳疾雀目を治す。

鰻 毒なし。

鯢魚 藻魚の類ひなり毒なし病人食ふべし。

鯢魚 食品にあらず薬になすべし、山中溪間に生ず、これを食すれば疫病を疾まず、膈を治すこ云ふ。

めばる 毒なし病人に害なし。

ひしこ 氣味弱におなじ。

鱒魚 虚勞を補ふ。

氷魚 京に多し毒なし然れ共瘡氣ある人に忌む。

金鯉 毒あり食ふべからず。

せいご 肌肉を潤し筋肉を強くし水氣を治す、多く食へば疥癬、瘡腫を發す。

瘡腫を發す。

石首魚 病人虚人食して害なし、然れども腹の中の兒に毒あり

妊婦、虚人小兒食ふべからず。

いさき 毒なし、但し此骨咽にたつ時はぬけがたし、よく慎み食

ふべし。

いかなご 毒なし、雖疥の毒ある人は忌むべし。

はたしろ 毒なし。

いしなぎ 少毒あり病人虚人一切食ふべからず。

河豚魚 毒なし、多食するときは血を破る。

白魚 毒なし、多食すれば痰を生ず。

公魚 毒なし。

青魚 一に鯨と訓す、松前の語なり、毒なし、雖も瘡氣ある人及

び諸病人に宜しからず。

青魚子 鯨の子なり、脾胃弱き人、積痞などある人は食すること

なかれ。

旗魚 少毒あり病人脾胃弱き人毒ふべからず。

鱈魚 毒なし、但しこれは海に産するものを云ふ。

うるめ 鯧の屬、毒なし。

稻車魚 一に楂魚に作る、またまんぼうと云ふ癰疽瘰癧に驗あ

附

録

り、また煎じ服すれば脾胃を開き食を進む、腹痛また下痢するによ

し。  
春來 一に鯢に作り又にて云ふ胃をひらき食を消す。

鳶毛 毒なし、病人小兒食ひて害なし。

章魚 俗に蛸に作る、血を養ひ氣を益す、然れども肉硬く消化し

難し、脾胃弱き人食ふべからず。

望胡魚 毒なし。

石距 毒あり、病人小兒にいむ。

烏賊 氣力を益し、人に益あり、多食すべからず。

螟脯乾 俗に鰯に作る、婦人月經を通じ乳汁を出す、肉硬き故多

食すれば消化しがたし。

沙喫 性寒にして消化し難し、病人小兒に忌む。

海參 元氣をまし五臟を補ひ咳嗽を止め熱をさます、癆咳、虚勞

小兒の疳疾を治す、人參の效あり、また注夏病を治し腎精を壯にす、

海鼠腸 毒なし、然れども藥を服する人食ふを忌む。

海膽醬 脾胃を補ひ人に益あり、一に雲丹。

蟹 小毒あり、熱をさまし胃氣を治め食を消す、妊娠の人には忌

む。

水母 毒なし、婦人瘀血又は帶下を治す。

鰾 小毒あり、陽を盛んにし乳を下す、多く食へば熱を動かし瘡

疥を生ず、病人小兒にいむ。

龍鰾 小毒あり、蛔蟲を去りむし齒を治す、また頭痛、疥癬、風疹を

治す。

苗鰾 小毒あり、血を動し熱を生ず、瘡疥ある人いむべし。



班節鰕 小毒あり、小便を利し諸淋を治す、多食すべからず。

龜 毒なし、氣力を益し血熱を去る、婦人帶下、血塊、腰の痛を治す。

石決明 毒なし、眼を明にし、精を益し五淋を通ず。

牡蠣 毒なし、虚損を補ひ肌をこまやかにし、顔の色を艶しくす。

文蛤 毒なし、渴を止め小便を通じ、痔疾、惡瘡を治す。

蜆 毒なし、目をあきらかにし、熱を去り胃中の濕を除き小便を

通ず、また黃疸によし。

魁蛤 毒なし、五臟を潤し消渴を温め陽を起す。

拳螺 毒なし、病人いまず、脾胃よはき人は忌む消化し難きが故

なり。

江排桂 毒なし、氣を下し中をこゝのふ。

蓼螺 毒なし、氣力を増す、脾胃弱き人は忌むべし。

田螺 毒なし、熱を冷し渴を止め酒毒を解す。

蚌 毒なし、目を明にし濕を除き酒毒を解す、多食すれば風を動

す。

黄螺 毒なし、多食すれば脾胃を損ず。

とりがい 毒なし、病人には忌む。

いたらがい 毒あり、三月以後は食すべからず。

蛤仔 毒なし、水氣を下し小便を利す、病人は忌まず。

竹螺 毒なし。

第十六 醫藥としての鳥獸肉の效

鶴 毒なし、虚を補ひ氣力を益し風を去り蟲を殺す。

雁 毒なし、筋骨を強くし麻痺を治す、多食すれば氣を動かす。

鴻 能毒雁に同じ、但七月は毒あり食ふべからず。

鴨 毒なし、中を補ひ氣をます、腹中の蟲を殺し水腫を治し悪瘡年久く、癒えざるを治す病人に益あり。

鳧 小毒あり、虚を補ひ熱をさり熱痢をやめ驚風を治す。

鷺 毒なし、脾胃を補ひ瘦せを癒す。

青鵪 毒なし、小便を利し汗をこむ。

水鴉 毒なし、炙り食すれば魚鰕の毒を解す。病人、小兒には忌む。

雉 小毒あり、中を補ひくだり腹を止む。多食すれば五痔もろも

ろの瘡疥を起す。

山鷄 小毒あり、炙り食へば中を補なふ。瘡ある人いむべし。

黄鷄 老人及び弱き人によし。

鷄 毒なし、中を調へ虚を補ふ。

鷄卵 毒なし、心を鎮め驚をやめ五臓を安んじ虚痢を止む。男子

陰囊濕り痒きを治し聲の出ざるをひらく。多食すれば風氣を動かす。

鵪 毒なし、中を温め氣をさかんにす。

鷄 毒なし、四月以後食すべし。

告天 毒なし。

鷓鴣 毒なし、中を温め虚を補なふ。

雀 毒なし、陽を盛にす。但薬を服する人いむべし。

白頭翁 毒なし、病人いまず。

を弱くし人を愚にす。病人、金瘡の人食すべからず。

猪 毒なし、腎氣を補ひ狂病を治す。多食すれば血脈を閉ち筋骨

牛 毒なく、脾胃を養ひ氣力を増し脚腰を温む。

熊 毒なし、虚を補ひ風痺筋骨不仁を治す。積聚あつて寒熱ある

ものは食すべからず。

鹿 毒なし、中を補ひ氣力をまし五臓をまし血脈をこゝのふ薬を服する人いむべし。

野猪 毒なし、肌膚を補ひ五臓をまし癩癩を治す薬を服する人いむべし。

狸 毒なし、中を補ひ氣をまし痔を治す。

狐 毒なし、瘡疥を治す。

鼠 毒なし、小兒の疳疾によし、また疥癬を患ふるもの炙り食へ

ば中の毒悉く發すこいへり。

兔 毒なし、胃を健にし氣力をまし熱をさます、多食すれば元氣

を損ず。

水獺 毒なし、水腫脹滿を治し骨蒸癆熱によろし多食すれば男

子の陽氣を減らす。

狼 毒なし、腸胃を厚うし五臓を補なふ。

貉 毒なし、虚人によろし。

獼猴 毒なし、肺をなし食すれば久瘡を治す。

臘肺臍 毒なし、中を補ひ腎を益し虚勞を治す。

實驗有效 民間療法 終

附 録

大正五年 九月一日 印刷  
大正五年 九月四日 發行

著作  
所有

民間療法典付  
定價金一圓

著者 伊藤尚賢  
發行者 野村鈴助  
印刷者 吉原良三  
印刷所 東京市麴町區有樂町二丁目一番地  
報文社

發行元

東京市銀座大通新橋際

新橋堂書店

(電話新橋一九九一番)  
(振替貯金口座二〇〇番)

60  
372

家 庭 醫 學 叢 書

|  |  |   |  |  |  |   |
|--|--|---|--|--|--|---|
| <p>唐澤醫學博士述<br/>小兒病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>千葉醫學博士述<br/>耳鼻咽喉病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>山田醫學博士述<br/>神經衰弱の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>額田醫學博士述<br/>肺結核の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>岡村醫學博士述<br/>皮膚病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p>                   | <p>佐藤醫學博士述<br/>婦人病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>廣川醫學博士述<br/>淋病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p>                 |
| <p>森江門前院長述<br/>肛門病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>杉江醫學博士述<br/>ヒステリーの話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>南醫學博士述<br/>胃腸病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p>   | <p>森醫學博士述<br/>病人看護の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>岡崎醫院長述<br/>有益な食物と危険な食物の話<br/>附喰合せの話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>中村醫學博士述<br/>精神病の話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> | <p>菊地醫學博士述<br/>脚氣とスリョー<br/>マチスリョーの話</p> <p>定價金拾五錢<br/>郵税金貳錢</p> |

東京銀座大橋 新橋堂書店 電話新橋一九九〇二

終

